

科目	物理 (Physics)		
担当教員	林 康慈 非常勤講師		
対象学年等	電子工学科・3年・前期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	A2(100%)		
授業の概要と方針	これまでに学んだ内容をもとに波動と原子物理の基礎を講じる。理論の論理構造と基礎概念の理解を深めるとともに、多くの具体例に触れ実際に応用できるようになることを目標とする。授業はほぼテキストに準ずる予定である。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A2】音波と光波について理解し、その活用ができる。		中間試験，定期試験および適宜行う小テストとレポートで評価する。
2	【A2】原子の世界について理解し、その活用ができる。		中間試験，定期試験および適宜行う小テストとレポートで評価する。
3	【A2】図書館や情報センター等を利用して必要な情報を入手し、課題についての説明が自分のことばで出来る。		レポートで評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験70% レポート20% 小テスト10% として評価する。試験成績は中間試験・定期試験の平均点とする。レポート提出では、良いものを提出することが大事であるが、 $\wedge$ 切を守ることも重要である。試験成績と小テスト・レポート成績で総合評価する。100点満点で評価し、60点以上を合格とする。		
テキスト	「高専の物理[第5版]」和達三樹監修（森北出版） 「エクセル物理I+II 三訂版」（実教出版）		
参考書	「高専の応用物理[第2版]」小暮陽三監修（森北出版） 「新・物理入門」山本義隆著（駿台文庫） 「理化学辞典」長倉三郎他編集（岩波書店） 「理科年表」国立天文台編集（丸善） 「高専の物理問題集[第3版]」田中富士男編著（森北出版）		
関連科目	国語，数学I，化学，論理学		
履修上の注意事項	自主的な予習と問題演習を期待する。授業では数式をよく使うが、その数式の意味を考えること。数式処理，文章理解の基礎が身につけているものとして授業を進める。		

